

⁵わたしを苦しめる者を前にしても
あなたはわたしに食卓を整えてくださる。
わたしの頭に香油を注ぎ
わたしの杯を溢れさせてくださる。

⁶命のある限り
恵みと慈しみはいつもわたしを追う。
主の家にわたしは帰り
生涯、そこにとどまるであろう。

【奨励者からのメッセージ】

私たちは、「自分が何者なのか」「人間とは何か」「生きるとは何か」「死ぬとは何か」「なぜ生きるのか」などといった人間の本質的な問いを持つことがあります。このような問いから生まれた学問が哲学で、答えを与えるのが宗教だと言われています。

私は、人間の神秘を考えたり感じたりすると、すべてのことが頭で理解できなくとも、創造主としての神の存在を否定することができませんでした。その中で、聖書の言葉も自然に受け入れるようになりました。聖書の教えを一言で表すならば「愛」です。もっと具体的に言うと「三愛精神」です。神を愛し、人を愛し、土を愛することです。世界中の人々に愛されている詩であり歌である詩編 23 篇は「主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない」で始まります。この詩句から、すべてのことが満たされた安心感が生まれてきます。

私たち人間は不安定で、不確実な未来を生きなければなりません。だから不安で心配なのは当然ですが、逆に、未来に対する期待もあります。私たちは自分の力だけでなく隣人に支えられ、神に「生かされ、導かれている」のではないのでしょうか。生かされているのを感謝し、導かれる道を日々勇気をもって誠実に歩いていきましょう。

【次回の大学礼拝】2019年7月9日（火）10時40分

肥田信長先生（とわの森三愛高等学校宗教主任）が奨励していただきます。ご期待ください。

【前回の大学礼拝】2019年6月25日（火）10時40分

学生 380名 教職員ほか 12名 合計 392名

【前々回の大学礼拝】2019年6月18日（火）10時40分

学生 329名 教職員ほか 12名 合計 341名

【大学礼拝週報 2019年度 第11号（前学期第11号）

2019年7月2日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 高橋優子（キリスト教学教員）
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「汝の道を示したまえ」（ゲーテ作曲）
讃美歌 讃美歌 21 361 番（この世はみな）
聖書 詩編 23 篇 1-6 節
祈り
さんび 酪農学園大学聖歌隊
奨励 「あなたは何者？～神に生かされ、導かれ～」
朴美愛（酪農学園宗教主事）
報告
讃美歌 讃美歌 459 番（飼い主わが主よ）
後奏 「主よ、我は汝により頼む」（パッヘルベル作曲）

【本日の聖書】詩編 23 篇 1-6 節

¹ 賛歌。ダビデの詩。

主は羊飼い、わたしには何も欠けることがない。

² 主は私を青草の原に休ませ

憩いの水のほとりに伴い

³ 魂を生き返らせてくださる。

主は御名にふさわしく

わたしを正しい道に導かれる。

⁴ 死の陰の谷を行くときも

わたしは災いを恐れない。

あなたがわたしと共にいてくださる。

あなたの鞭、あなたの杖

それがわたしを力づける。